

あいの風と清流



2025/7/20

会報 第164号

一般社団法人 愛知県環境測定分析協会



「夏の渓谷」

撮影地：岐阜県加茂郡七宗町（飛水峡と飛騨川）
撮影日：2022年7月23日
提供：各務直之氏
（三協熱研株式会社）

コメント：暑さも増した7月、ドライブがてら七宗町付近の飛水峡に立ち寄りしました。飛水峡を含めた飛騨川流域一帯は、飛騨木曾川国定公園に指定されています。緑が眩しい山々と峡谷が織りなす雄大な景色に圧倒されました。

目次

令和7年度 定時社員総会報告	2～3	委員会活動報告・今後の抱負	5～6
愛環協 会長・副会長 就任挨拶	3～4	「令和6年度 特別企画セミナー」開催報告	6～7
愛環協 新監事・新理事紹介	4～5	新会員紹介	7～8
		事務局からのお知らせ	8

四季折々

夏の季節がやって来ました。この原稿を書いている今は初夏が過ぎ、梅雨真っ只中！ではありますが、太陽が輝くいい天気です。今年の梅雨は陽性型（メリハリ型）で、大雨の日と天気の良い日がハッキリ分かれるとのこと。

天気の良い日は気温が上がり、厳しい暑さになるのも特徴ということですが、まさにそんな晴れが続くこの頃は、最高気温が35℃を超え、猛暑日となりました。この時期（6月中旬）に「猛暑日」というのは早過ぎるのでは、と調べたところ、2022年6月に、群馬県伊勢崎市でなんと40.2度を記録していました。「6月の猛暑日」は毎年ではないものの、だんだんと珍しくない感じとなってきており、何とも言えない気持ちになります。真夏日（猛暑日）が増えているという話も聞きますが、早い時期からの真夏日（猛暑日）が、当たり前にならない事を祈るばかりです。

厳しい暑さというと熱中症の話題が避けては通れませんが、今年6月の法改正で、職場での熱中症対策が義務化されました。皆さん意識や対策はされていると思いますが、油断せず体調管理をしっかりして夏を乗り切りましょう。

私は先日、「大丈夫だろう」と冷房を使用せず窓だけ開けて寝たところ、汗だくとなり、辛い思いをしました。完全な油断です。まだまだ暑い日は続くと思いますので気を付けましょう。

実は昨年7月号の四季折々も書かせていただいております、何を書いていたかと読み直したところ、『暑さと気温』『梅雨』と同じでした。季節的な話題を書いているとはいえ、似たようなテーマになっても・・・とは思いますが、あまりに同じで話のネタが無い人だと我ながら感じた次第です。
文責 松本 貴郁

令和7年度 定時社員総会報告

事務局長 近藤 浩史

一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和7年度定時社員総会が6月9日、愛知県環境局技監 平野淳一様と愛知県経済産業局中小企業部商業流通課 担当課長 長谷川秀幸様のご臨席を賜り、名古屋市熱田区のサイプレスガーデンホテルにおいて開催されました。

総会は、正会員63名中56名（委任状も含む。）のご出席のもと、はじめに大野会長の挨拶に続き、来賓の平野様にご祝辞をいただきました。

続いて議事の審議に移り、事務局による説明の後に採決が行われ、令和6年度の事業報告及び収支決算が可決され、また、令和7年度事業計画及び収支予算が承認されました。



大野哲会長
のご挨拶

役員の選任については、重任7名に加えて5名の役員が新たに選出され、総会後の理事会において、会長には林辰哉氏（新任）、副会長には大場恵史氏（新任）が選定されました。

表1 令和7～8年度 愛環協役員一覧

役員	氏名	所属事業所
会長	林 辰哉	一般財団法人東海技術センター
副会長	大場 恵史	株式会社東海分析化学研究所
理事	石井 良孝*	株式会社愛研
理事	伊藤 諭志	東亜環境サービス株式会社
理事	伊藤 教博*	株式会社コスモ環境衛生コンサルタント
理事	牛古 誠*	株式会社環境公害センター
理事	濱地 清市	株式会社ユニケミー
理事	林 昌史	株式会社環境科学研究所
理事	柳下 武己*	株式会社三進製作所
理事	吉田 謙	株式会社テクノ中部
監事	大野 哲	株式会社イズミテック
監事	藤山 法士*	一般社団法人愛知県薬剤師会

※5名の方々が新たに役員に就任されました。
 （敬称略、以下同じ）

総会に先立ち、表彰式が行われ、計量士として長年計量管理の推進に貢献された中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社の志賀政雄氏が愛知県計量関係功労者として愛知県知事から表彰を受け、続いて正会員従業員表彰として16名が大野会長から表彰を受けました。

表2 愛知県計量関係功労者表彰受賞者

氏名	所属事業所
志賀 政雄	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社



愛知県計量関係
功労者表彰受賞
の志賀政雄氏(右)

表3 正会員従業員表彰受賞者

氏名	所属事業所
荒川 正樹	株式会社環境科学研究所
尾崎 芙実	一般社団法人愛知県薬剤師会
加知 直樹	株式会社大同分析リサーチ
河合 新	株式会社環境公害センター
河井 詩歩	株式会社環境公害センター
川口 陽大	株式会社イズミテック
杉浦 百加	一般財団法人東海技術センター
竹内 こずえ	壽化工機株式会社
近井 香子	株式会社ユニケミー
遠山 侑佳	株式会社愛研
福永 達哉	サンエイ株式会社
二村 剛史	一般社団法人愛知県薬剤師会
堀部 泰生	株式会社ユニケミー
松延 章吾	株式会社イズミテック
山添 俊徳	株式会社大同分析リサーチ
山中 智香	東亜環境サービス株式会社

また、「令和7年度環境に関する喚起標語」入選者の表彰も行われ、特選のサンエイ株式会社の鈴木大地氏に賞状が授与されました。

【特選作品】

『品質づくりは人づくり
技術で繋ぐ 信頼の環境計量』

さらに、第7回写真コンテストの四季部門金賞として一般社団法人愛知県薬剤師会の永井健太郎氏の「落ち葉と観光客を見守るお地藏さん」と、測定・分析部門金賞として一般財団法人東海技術センターの白戸亜矢子氏の「日常業務に彩を添える紫の音階」がそれぞれ表彰を受けました。

総会終了後、株式会社帝国データバンク名古屋支店調査第1部 部長 岩瀬宏之様による『TDB企業情報からみる中小企業のリスク』と題した特別講演が行われました。

この後行われた懇親会には、60名の方々にご参加いただきました。

普段なかなか顔を合わせて懇談する機会の少ない会員同士が和気あいあいと会話を弾ませるなどたいへん賑やかな宴となりました。

の向上のための教育研修事業、精度管理事業を充実させていきます。そして、技術面だけでなく様々なテーマでのセミナーも企画することで、各社技術者以外の方が参加しやすい協会にしていきたいと考えています。

また、全国の県単組織との連携強化も一層深めてまいります。平成31年に締結した災害時相互応援協定をきっかけに、様々な県単組織との情報交換も活発となりました。各県単での活動状況は愛環協での活動に活かせる内容も多く、一方、愛環協での活動内容を発信できる良い機会となっています。双方向の意見交換を十分に活用し、それぞれの活動をより深めていきたいと思っております。

最後になりますが、大場副会長とともに新しい体制でスタートを切ります。協会発展のために、より一層努力してまいりますので、会員のみならず、そして賛助会員のみならず、協会活動に今後ともご理解とご協力をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

愛環協 会長 就任挨拶

会長 林 辰哉



このたび、6月9日の定時社員総会および理事会で皆様のご推挙により令和7～8年度の愛知県環境測定分析協会の会長に就任しました一般財団法人東海技術センターの林辰哉です。

私は、30数年にわたり環境に携わる営業マンとして過ごしてまいりました。愛環協の協会活動へは、広報委員長として会報誌の監

修・編集作業に明け暮れた4年間、そして副会長・総務委員長として大野会長をお支えた6年間となります。

愛環境の歴史を調べてみますと、設立は昭和52年、今年で48年目を迎えました。愛環境は、全国の都道府県単位の環境計量団体の中でも全国一の活動量があると言われています。その輝かしい歴史を作ったのは、これまで協会を支えてきた先人であり、諸先輩方には感謝しかございません。その愛環協の会長という大役を仰せつかり、責任の重さに身の引き締まる思いです。数えるところ私が9代目となるようです。大野会長、これまでありがとうございます。

発足当時、50社程度だった正会員数はMAX80社社まで増えましたが、現在数は63社、賛助会員は18社となっています。私は、この会員数を1割増やしたいと思っています。そのために、協会の大きな目的である測定分析技術

愛環協 副会長 就任挨拶

副会長 大場 恵史



このたび、愛知県環境測定分析協会の副会長を拝命いたしました、株式会社東海分析化学研究所の大場恵史です。

広報誌の作成やブロック会議の運営、災害対応の活動などを通じて、多くの皆様とともに協会の歩みを支えてまいりました。その過程で得た多くの出会いと経験は、私にとってかけがえ

のないものです。これまで支えていただいた皆様への感謝を胸に、副会長として協会のさらなる発展に尽力してまいります。

経済発展や技術革新が進む一方で、環境問題もまた複雑化し、地球温暖化や大気汚染など、国や地域の枠を超えた対策が求められています。そのなかで、環境測定と分析技術の果たす役割はますます重要になっています。協会は、創立以来、測定技術の向上や情報発信を通じて、環境保全に取り組んでまいりました。今後も、時代の変化に適応しながら、より確かなデータの提供と課題解決に貢献していきたいと考えています。

私自身、広報誌の編集を担当するなかで、歴代の広報編集委員長の皆様から温かいご指導をいただき、また委員会後の懇親会では楽しい思い出を重ねることができました。

最近、副委員長としては、同年代や若手の方々の柔軟で

鋭いアイデア、そして迅速な仕事ぶりに刺激を受け、助けていただく場面が多くありました。ブロック会議では、不慣れな議長ながらも、参加者の皆様がより良い会議にしようと活発に発言してくださり、とても勉強になりました。懇親会では単なる交流にとどまらず、貴重な情報交換の場として有意義な時間を過ごさせていただきました。

災害委員会では、最初は戸惑うこともありましたが、現場の皆様が的確にサポートしてくださり、スムーズに訓練を行うことができました。こうした皆様との交流や経験を通じて、環境測定の現場には、人の支えや協力が不可欠であることを実感しています。これまで助けていただいた分、今後は私自身が少しでも皆様の力になれるよう努めていきたいと思っています。

副会長として、測定技術のさらなる向上、若手の育成、地域との連携強化を図りながら、環境問題に積極的に取り組んでまいります。そして、会員の皆様との対話を大切にしながら、ともに学び、ともに成長し、未来の環境保全に貢献できる協会を目指していきたいと思っています。これからも、どうぞよろしくお願いたします。

新監事紹介

監事 藤山 法士



本年度より金田・柴田両監事の後を受けて、愛知県環境測定分析協会の監事に就任することになりました一般社団法人愛知県薬剤師会の藤山法士と申します。

私は平成7年に愛知県薬剤師会に入社し、20年余り環境測定の実務・計量管理や浄化槽の法検査など水環境に関する業

務を行ってきました。

愛環協では平成19年から平成27年まで技術委員を務めさせていただき、他社の方々と意見を交わし、横の繋がりに加え、多くの知識や考えを学ぶ大変貴重な経験をさせていただきました。

また、現在では、一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部の監事を務めさせていただき、愛環協・日環協共催行事や中部支部担当のセミナーなどの監査を行っております。委員としての実行する側から監査する側へと立場が変わることより物事への見方も大きく変わりました。

大野前会長はじめ諸先輩方の温かく思慮深いご指導により個々の行事の目的や業界全体の方向性への愛環協としての関与の仕方など、立場の違いを超え広い視野で多角的に

物事を捉えることが出来るようになってきました。

このように多くの学びや経験を授けていただいた愛環協には感謝してもしきれない思いでおります。今後は、この頂いた御恩を少しでもお返しできるように努めていきたいと思ひます。

新理事紹介

理事 柳下 武己



皆様初めまして。この度、愛知県環境測定分析協会の理事を拝命しました、株式会社三進製作所の柳下武己と申します。微力ながら精一杯努力させていただきます。

当社、株式会社三進製作所は工業用ろ過装置事業、排水処理装置事業、リサイクル装置事業の三本

柱を中心に開発・設計・製造・販売と設備の定期点検・保守管理をおこなっております。また、イオン交換装置の樹脂再生・環境計量証明事業も手掛けております。その業務内にて製造機器選定の目的において検体の分析やろ過テスト、排水処理テストをおこなっております。

昭和23年創立より本年9月をもちまして創立77周年を迎えます。

私は昭和62年4月1日に入社しました（JRの開業日が入社日です）。

入社後、分析部門・開発部門・生産部門・営業部門と携わってまいりました。その中でも営業部門に25年程度と一番長く従事しており、日本国内、北から南までいろいろな地域にて仕事をさせていただいております。

環境測定分析分野の専門業務の経験は入社後の数年間しかございませんが、皆様のご指導を頂戴し勉強していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

理事 伊藤 教博



この度令和7～8年度の理事として承認いただいた株式会社コスモ環境衛生コンサルタントの伊藤教博でございます。ご承認いただき誠にありがとうございます。理事として愛知県環境測定分析協会の活動に貢献できる

よう誠心誠意努めさせていただき所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

当社は尾張第2ブロックに所属しております。第2ブロックは林ブロック長をはじめ積極的に活動に参加される方が多数所属しており、会議では活発な議論が行われ非常に有意義な場となっております。そこで参加するなかで自分自身もより積極的に活動に参加していきたいと思い決意させていただきました。

環境測定分析協会の中でも正会員63事業所、賛助会員18事業所と多数の会員が所属している愛知県環境測定分析協会の理事として、その名を汚さぬよう努力して参りますので、御指導御鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。



委員会活動報告 ・ 今後の抱負

◇ 総務委員会

総務委員会は、各委員長の皆様とともに協会の政策事業の審議・立案を担い、その運営を統括する立場となります。本委員会では、各委員長の皆様と連携し、協会の活動を円滑に進めるための施策を推進してまいります。

このたび、副会長とともに総務委員長を拝命いたしました。林会長の掲げる方針をしっかりと支え、協会の発展に向けて委員会活動を通じて全力でサポートする所存です。

これまで培った経験を活かし、会員の皆様が安心して活動できる環境を整え、協会の未来に貢献できるよう尽力いたします。

皆様とともに歩みながら、協会のさらなる成長を目指してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

総務委員長 大場 恵史



◇ 企画・広報委員会

令和7年度第1回目の委員会を5月9日に書面開催にて実施しました。

令和7年度企画・広報委員会体制について定時総会後に新体制を各委員にお知らせし、新メンバーで委員会活動を

進めていきます。本会報誌164号の記事・編集スケジュールについて役割を確定し編集作業を始めました。

令和7年度施設見学会とフットサル大会について隔年開催とし今年度は施設見学会を開催します。開催時期は10月を目途に進めていきます。

このたび、角委員長に代わり企画・広報委員長を務めさせていただきます。

愛知県環境測定分析協会を牽引された諸先輩方には大変お世話になり、成長する機会をいただき感謝しかありません。企画・広報委員、皆様のお力をお借りし、愛環協に貢献できる委員会活動を行っていきます。よろしくお願い申し上げます。

企画・広報委員長 石井 良孝



◇ 教育研修委員会

6月19日、20日に環境測定分析新任者研修会をオンラインで開催しました。62名の参加者のうち、21名が中部地方以外からの参加者でした。

教育研修委員会では、7月25日に精度管理研修会①【基礎統計コース】の開催を予定しています。その後、9月18日、19日に精度管理研修会②【中堅実務コース】、10月31日に環境計量士等研修会、来年1月30日にSOP研修会を開催する予定です。多数のご参加をお待ちしております。

なお、今年度から教育研修委員長を拝命しました。愛環協が開催する5つの教育研修事業を通じて、会員の皆様の人材育成に貢献できるよう活動していく所存です。よろしくお願い申し上げます。

教育研修委員長 牛古 誠



◇ 技術委員会（水質、大気、騒音）

5月9日に令和7年度第1回技術委員全体会議を開催しましたので報告いたします。

☆ 水質・土壌ワーキンググループ

今年度は、模擬排水中の全窒素・亜硝酸性窒素を対象とした共同実験を現在実施中です。報告期限は8月8日としておりますので、それまでにご提出ください。結果検討会については12月12日に予定しております。

☆ 大気・臭気ワーキンググループ

今年度は、令和8年1月下旬～2月上旬ごろに勉強会の実施を計画しています。近江オドエアサービス株式会社

の方に講師を依頼し、臭気測定に関する内容で検討しています。詳細は追ってご連絡いたします。

☆ 騒音・振動ワーキンググループ

今年度は、令和7年11月ごろに勉強会を計画しています。内容に関して現在議論が進められていますので、改めてご連絡いたします。

以下、技術委員長としての抱負とさせていただきます。

前任期に引き続き、再び技術委員長を拝命いたしました。微力ながら、引き続き愛環協の活動に尽力してまいります。

技術委員会では、会員の皆様の技術向上を目的に、共同実験や勉強会などの取り組みを行っております。これらの活動は、同じ志を持つ仲間と出会い、互いに学び合う貴重な機会でもあります。そうした出会いと学びの積み重ねが、やがて私たちの業界全体の力となると信じています。

これからも、計量証明事業の未来を支える技術者の皆様と共に学び、成長できる場を作ってまいります。

引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

技術委員長 伊藤 諭志



◇ 災害緊急時対応委員会

本年度の災害協力認定会員の更新にあたり44会員の皆様よりお申し込みをいただき誠にありがとうございました。今後は認定会員証の発行、協定締結自治体への名簿の配布、本年度の活動計画策定を進めてまいります。また6月20日に大阪で開催された「災害時相互支援協定の意見交換会」にも参加いたしました。次年度の意見交換会は愛知での開催が予定されておりますので、皆様のご協力をいただきながら準備を進めてまいります。

災害緊急時対応委員会では、大規模災害発生時における対応をより確実に行うため、協定締結自治体や、災害時相互支援協定を結んでいる他県単との連携を一層強化してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

災害緊急時対応委員長 林 昌史



「令和6年度 特別企画 セミナー」開催報告

前総務委員長 林 辰哉

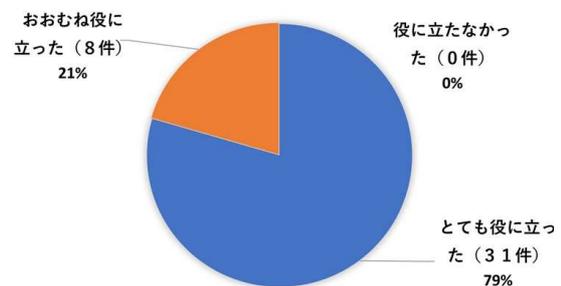
3月21日に愛環協・日環協中部支部共催で特別企画セミナーを開催しました。セミナーは Niterra 日本特殊陶業市民会館にて対面式で開催し、39名が参加しました。

第1部の「計量証明事業所への立入検査について～最新情報～」では、愛知県経済産業局 中小企業部商業流通課 主事の八鍬宗親氏より、計量証明事業所において留意すべき事項についてご講演いただきました。特に、立入検査の趣旨と法令違反や事件・事故の未然防止の観点による口頭指導や改善指示の事例紹介は、具体的かつ、とても分かりやすいご説明でした。

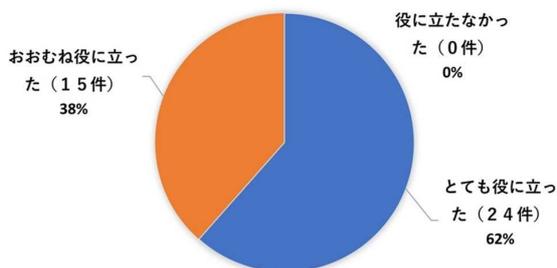
第2部の「被害事例に学ぶ！ 中小企業が今すぐ取り組むべきサイバーセキュリティ対策とは？」では、エムオーテックス株式会社 営業本部営業企画部 副部長の原田洋司氏より、セキュリティ事故の現状と対策を実例に基づいてご説明をいただきました。情報セキュリティ対策やサイバーインシデントはもはや経営に影響を与えるということ、そしてインシデント事例から正しいセキュリティ対策のありかたとは何か。さらに、それらのセキュリティ対策が実際に機能しているかどうかを重要であることを学びました。

◇ 参加者からのアンケート結果 (全39件)

① 「計量証明事業所への立入検査について」



② 「今すぐ取り組むべきサイバーセキュリティ対策とは？」



③ セミナー全般に対する感想

「計量証明事業所への立入検査について」

- 注意点や最新情報の再確認、立ち入り検査での指導事例など、今後役立つ情報が得られた。
- 社内体制を見直す良いきっかけとなった。漏れのないように実施していきたい。
- 確認項目がわかりやすかった。
- 事例紹介が参考になった。監査は業務規程の見直しなど重要な機会になるためしっかりと対応したい。
- 変更届に関する疑問が解消できた。

「今すぐ取り組むべきサイバーセキュリティ対策とは？」

- 情報セキュリティについての重要性を再認識でき必要性を実感できた。
- 自社の状況を再確認したい。
- 担当者に任せっきりにすることが多く、勉強になった。危機感を感じたし、講師の方の思いや熱量を感じる講義であった。
- IPA の情報も混ぜながらの説明で分かりやすかった。

④ 今後希望するテーマ

- 立入検査は毎年取り上げてほしい。
- 法令、基準値改訂等、業界のトピックス、分析方法の最新情報。
- 分析時や測定時などの事故事例。
- 実験室における化学物質管理について。
- 計量管理について掘り下げた講義を聞いてみたい。
- e-計量を再度お願いしたい。

今回も昨年同様、多くの方々にご参加をいただきました。セミナー終了後には会場直下のレストランでフロア貸し切りの懇親会を開催し、参加者と協会スタッフが遅い時間帯まで盛り上がったことが印象的です。

愛環協では、社会でのHOTな話題、そして、みなさまのご要望にお応えできる内容を企画して、今後も特別企画セミナーを開催してまいります。これからも、愛環協の活動へご協力をお願いします。

新会員紹介

オオノ開発株式会社 知多事業所
(大野 智晶)

◆ 弊社のご紹介

2025年4月より新たに正会員となりました、オオノ開発株式会社です。

弊社は愛媛県松山市に本社を構え、1966年の創業以来、「みなさんに喜んでいただく」をモットーに環境に関わる様々な事業を展開してまいりました。

2009年には、近年多様化している環境問題に迅速・適確に対応するため、「環境科学研究センター（オオノ・ラボ）」を愛媛県東温市に設立しました。当ラボでは、大気、水又は土壌に関する計量証明事業をはじめ、PCB廃棄物分析や、解体現場で発生した気中及び建材中のアスベスト分析、その他、弊社の廃棄物処理事業に関わる調査や分析を行っています。

当ラボが立地する「東温事業所（フレップとうおん）」では、2011年に複合リサイクルプラントを建設しました。通常の産業廃棄物処理の他に、土壌汚染対策法に基づく汚染土壌処理業の許可や、低濃度PCB廃棄物の無害化処理施設の大臣認定を受け、全国で発生する汚染問題に対して無害化処理を推進してまいりました。

分析による事前調査から、解体、収集運搬、最終処分までを行う一貫処理体制を整え、環境問題に迅速に対応することで、事業者の皆様にご安心安全をお届けできるよう努めています。

近年では、現場においてより安全に生産性の高い作業が行えるよう、大型重機工法の採用や最先端技術を駆使した5G遠隔操作システムの導入なども進めています。



オオノ・ラボ（愛媛県東温市）



フレップとうおん 複合リサイクルプラント（愛媛県東温市）

◆ 知多事業所（フレップ知多）を開設

2021年、今後の社会のニーズにより幅広く対応するため、県外事業所として2箇所目となる「知多事業所（フレップ知多）」を開設しました。



自社バースを持つ約39万㎡の広大な敷地で、現在、低濃度PCB廃棄物及び汚染土壌の積替え保管を行い、愛媛県内に構える複合処理施設へ運搬しています。

2025年には、当事業所に新たなラボ「環境科学研究センター」を設立しました。分析者の安全性や作業性を重視し、機能面とデザイン性を備えた実験室が特徴の当ラボでは、今後の人材不足の課題にも対応できるよう自動化装置を導入するなど、精度の高いサービスを効率よく提供できる体制づくりに努めています。

これからは愛媛・愛知の2拠点において、大気、水、土壌、廃棄物などの環境分析を行う他、知多事業所で展開される廃棄物処理やリサイクルといった環境関連事業を支えていきます。環境問題は年々複雑化し、新たな汚染物質の課題にも社会が直面する中、環境と密接にかかわる廃棄物処理業者として、それらの解決に真摯に取り組んでまいります。



フレップ知多 ラボエリア（愛知県知多市）

◆ 産業廃棄物処理からリサイクルへ

弊社はこれまで、産業廃棄物の処理業を基盤とした様々な事業を展開してまいりましたが、今後は政府の掲げる「カーボンニュートラル」を実現するために、より一層リサイクルに注力し、脱炭素化を進めていく所存です。そのための新規事業として、現在リチウムイオンバッテリーや船舶におけるリサイクルの事業化に向けた検討を行っています。廃棄物から資源を回収し、それらを循環させるクローズドループを積極的に進め資源循環型社会の実現を目指します。

そしてこれらの環境関連事業を通じて、愛知県環境測定分析協会ならびに分析業界の発展に寄与できるよう取り組んでまいりますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

【精度管理研修会②（中堅実務コース）】

令和7年9月18日（木）・19日（金）
オンライン開催

【環境計量士等研修会】

令和7年10月31日（金）
オンライン開催

※今年度は10月の開催となります。

○夏季休暇のお知らせ

8月13～15日は、夏季休暇となります。

編集後記（佐藤 勇人）

夏季ということで、月並みではありますが、花火の話をしていしましょう。花火が上がったときに、「たまやー」、「かぎやー」という「かけ声」を出す風習があります。これは江戸時代に始まったもので、江戸で打ち上げ花火を作っていた「玉屋」と「鍵屋」というお店の名前に由来しています。花火大会で両方の花火が上がったとき、花火を見ていた人たちが、より綺麗だと思った方のお店の名前を叫んでいたそうです。なお、「鍵屋」は、今も「株式会社宗家花火鍵屋」として現存しています。一方、「玉屋」は今では存在していません。当時、鍵屋から暖簾分けされて創業した玉屋は、一世を風靡するのですが、不慮の失火により江戸から追放となり、廃業したのだそうです。以上、花火豆知識でした。

末筆ながら、今号にご寄稿いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。本誌では今後も、読者の皆様のご興味を引く話題・情報を提供して参ります。

発行人 （一社）愛知県環境測定分析協会
会長 林 辰哉
〒460-0022
名古屋市中区金山1-2-4
アイディエリア405号
TEL：052-321-3803
FAX：052-684-4238
E-mail：aikankyo@nifty.com

編集 （一社）愛知県環境測定分析協会 企画・広報委員会
委員長：石井 良孝
副委員長：柳下 武己
委員：中野 雅則、日野 栄一、山本 浩明、
長瀬 勝、松本 貴郁、渡部 すみれ、佐藤 勇人